

委員会Q&A

総務・産業の各常任委員会、予算特別委員会に付託された案件の審議内容の一部をQ&Aにて掲載します

総務常任委員会

◆ 議案第3号

飛騨市行政区等設置条例の一部を改正する条例について
神岡町北部区を廃止し7つの行政区等として再編。

Q 各区に区長を選任するの

A 各区に区長を選任するの

か。また、神岡町市街地の行政区はどのように考えるか。

◆ 議案第6号

飛騨市積立金条例の一部を改正する条例について
清掃施設の維持修繕経費の基金を創設。

Q 基金の規模は。

A 修繕費を試算から年間約9千万円と見込み、予算を平準化するため各年度の実費用との差を基金で調整する。

◆ 議案第10号

飛騨市総合政策審議会設置条例について
市の基本的政策等の企画立案を市民側の見地から調査・審議を行なう。

Q 審議会の委員構成は。県

A 外の方や高校生の参画は。

Q 地域性や活動分野など多様な方の参加を考えている。高校生や市外部の方の意見を聞く方法も考えたい。

◆ 議案第12号

指定管理者の指定について（飛騨市ロスト・ライン・パーク）
NPO法人神岡・町づくりネットワークを指定。

Q 安全性は確保されているか。また修繕費の負担は。

A 研修や意見交換会を開催し安全を第一に考えて運行する。修繕費は協議の上決める。

Q 今後何年くらいの営業を考えているのか。

A 神岡の町の賑わいを作る場として宙ドームと共に大切な観光資源であり、後進の育成を含めできるだけ長く継続をしたい。

◆ 議案第20号

飛騨市指定地域密着型サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について
地域密着型通所介護の運営基準等を新たに定め、現行独自基準の見直しを行なう。

Q 市内の対象施設は。

A 18人以下の小規模通所型介護事業所は、古川3施設、河合、宮川各1の5ヶ所。高山市の1施設も対象。

産業常任委員会

◆ 議案第28号

指定管理者の指定について（朝開町農産物直売所）
地場産市場ひだ合同会社を指定。

Q 安心・安全・新鮮な野菜

をどの様に実現するのか。

A 当施設を含め3つの農産物直売所で協議会を設立し研修会や勉強会を開催する。

◆ 議案第29・30号

指定管理者の指定について（飛騨市古川桃源郷温泉ぬく森の湯すばいふる）（飛騨市古川総合交流ターミナル施設）
株式会社飛騨ゆいを指定。

Q 平成27年度比で29年度300万程改善見込だが、どのような改善をしたのか。

A 一日二便の無料バス運行、レストラン営業時間の延長、メニューの改善等。

◆ 議案第31号

指定管理者の指定について（飛騨市神岡広域総合交流促進施設（Mプラザ）、飛騨市流葉自然休養村オートキャンプ場、飛騨市流葉自然休養園コテージ、飛騨市流葉自然休養園管理センター）
緑風観光株式会社を指定。

Q 指定管理料を安易にカットすべきでないと考えているが。

A 抜本的経営改革案に則

り、平成30年度から削減方針だが、経営状況を精査して判断する。

予算特別委員会

3月補正予算審議

総務部

Q 神岡〆猪谷線のバス利用者は伸びていないのか。

A 予測より乗客少なく、運賃収入も減っている。

企画部

Q 神岡町東茂住の夢館の維持管理はどうするのか。

A 指定管理とする。

Q ふるさと納税繁忙期の職員体制は。

A システム導入し処理できた。臨時職員で体制も増強。

Q 市内の方がふるさと納税をされた影響額は。

A 平成28年分で84名。金額で230万円。

Q 地域おこし協力隊は募集してもいなかったのか。

A 1名は採用時期が遅かった。1名は確保できなかった。

Q 全国的な募集状況は。

A 需要はある。自分に合うか考え応募されるようだ。

市民福祉部

Q ケアマネージャーが見つからず、支障はなかったか。

A 担当件数は増えたが、委託で対応。4月から1名確保。

環境水道部

Q 人口減でごみは減っていると思われるが市の分析は。

A ごみは年々減少傾向にあるが、火災の影響もあり傾向の判断は少し様子をみたい。

商工観光部

Q 池ヶ原湿原、天生の森バスツアーの昨年度の実績は。

A 池ヶ原、5日間実施で30名参加、費用45万8千円。天生、10日間実施で42名参加、費用130万3千円。

教育委員会

Q 小中学校の設計費が安くなった理由は。

A 地区ごとに委託したので割安になった。

Q 育英基金の地元就職者補助の実績は何名か。

A 制度は平成26年で終了しており、全体で34名。平成39年まで償還続く。

Q 埋蔵文化財調査。工事は済んだか。

A 調査は12月19日で終了。3月末で工事も完了する。

平成29年度当初予算審議

総務部

Q 地方交付税の額をどのくらいと考えているか。

A 70億程度見込む。その額で予算を組める体力が必要。

Q 予算編成の公開をどのように考えるか。

A 今後公開の手法を検討。予算編成は作業をもっと簡便にできないか。

A 膨大な事務量。資料の見直しも含め改善したい。

Q 人件費の査定を明確に。

A 職員定数での議論もあるが、課題として検討したい。

Q 個人市民税増の根拠は。

A 企業間き取りから給与増、臨時賞与、最低賃金上昇など。

Q 庁舎のトイレ改修、和式を残す理由は。

A スペースの関係と和式のニーズも考慮して。

Q バス運行の見直しは。

A 市民ニーズの多様化。効率的に対応していく。

Q ドローン活用について、今後購入の予定は。

A 高価でメンテナンスも考え購入は考えていない。当面は楽天と提携で借用を想定。

対象年齢は。

A 主査級〜係長が主。専門研修は年齢問わず希望者で。

消防本部

Q 車両1台の維持経費は。

A 購入後20年を目途に更新しており経費は車種によって違う。

Q 消火栓は今後も増やす予定か。

A 地元要望をふまえ、緊急性を考慮し増設する。

Q 消火栓は団員によるチェックを行っているか。

A 地域によって行っている。

企画部

Q レールマウンテンバイクが人気の奥飛騨温泉口駅トイレの改修計画は。

A 3月補正予算で対応。

Q 地域おこし協力隊委託料の用途は。

A 地域のサポート支援への委託料。

Q 地域おこし協力隊、神岡のまちなかに配置予定は。

A 目的によって検討するが特に考えていない。

Q 町づくりの柱をどうすべきと考えるか。

A 市民の自由な発想によるべきで行政が示すものでない。

吉城高校の地域との協働事業の実績は。

A 地域住民とのワークショップ。高校生が小学生に教えるふれあい授業など。

Q 小さなまちづくり事業は継続事業も応募可能か。

A 可能であるが、工夫をしてほしい。

Q ふるさと納税、インターネット利用率は。

A 約97%。

Q 返礼品のうち米の実績は。

A 400件。1千万円程度。

Q 新商品の開発も検討を。

A 庁内連携し、魅力的な販路拡大したい。

Q 飛騨市フアンクラブ、登録の実績と目標は。

A 89名登録。平成29年度は1千人目標。

Q 会員同士の交流の際、エリアのキーマンはいえるのか。

A 東海飛騨市会、関東飛騨市会などを考えている。

Q 移住支援について直接的なふれあいも必要では。

A 飛騨広域でも支援を行っている。前向きに検討する。

指定管理施設の老朽化・サービスの維持・管理料の削減などの考えは。

A 平成30年度目途に目標管理しつかり行う。削減ばかりでなく質を高める必要も。

Q レールマウンテンバイク雪シーズンの利用はどうか。

A NPO法人でも考えているようである。

市民福祉部

Q 「ありがとうファーム」の契約と受け入れ人数は。

A 平成29年度にむけて契約。2〜3人受け入れ予定。

Q 入園・入学準備品制度の支払い方法は。

A 領収書を確認して振込み。商品券は考えていない。

Q 和光園整備事業。隣接になった理由は。

A 周辺土地を探したが取得困難。事業者や職員の意見も十分配慮し4階建てとした。

Q まめとく健康ポイント事業の具体的メニューは。

A 健診受診を必須に。紙でポイント付与し満点で商品交換。次年度へ繰り越しなし。

Q 休園の宮川保育園に利用希望があつた場合の対応は。

A 河合保育園で受け入れ。

Q 特定健診情報提供事業は。

A 250名の提供で受診率5ポイント上がる見込み。

Q 健康いきいき券の取り扱いについて。

A 70歳以上に引き上げ、家族利用も可能とする。

Q 後期高齢者検診受診率は。20〜25%。今後も個人に受診を勧めていく。

環境水道部

Q みずほクリーンセンター広域で更新等の協議は。

A 建設後まだ15年で、今後の事はもう少し先の協議。

Q 外来植物除去について、現在の状況は。

A 平成24年から実施。オオキンケイギクは減少、オオハングンソウは増加傾向。

Q 各地区で除草作業が行われるが、根から抜く等、地域あげた対策が必要でないか。

A 地域活動による駆除体制の確立を徐々に拡大したい。

Q 古川浄化センター活性装置導入で水質向上するのか。

A 通常の汚泥より活性力が高く、処理水もよくなる。

Q 神岡にも導入しては。

A まず古川浄化センターで試し、様子を見て検討。

農 林 部

Q 畜産構造改革支援事業。吉城コンポに対する予算は。

A 約2千万円。補助率は県と市を合わせて3分の2。

Q 吉城コンポへ補助を減らせるように市での指導は。

A 吉城コンポの経営についてしっかり指導したい。

Q ふるさと納税の返礼品に米が人気。参加農家の増を。

A 認定農業者の会議でも提案していきたい。

Q 鳥獣被害対策。上気多地区のみ柵がないが、この地域との協議の進捗状況は。

A 柵の耐用年数の14年間管理する協議会が必要。耕作者に殿町の方が多い事もあり、殿町、上気多の改良組合、区で協議を進められている。

商工観光部

Q 新しく景気動向調査が行われるが、議員や市民にも広く知らしめるべきでは。

A ホームページ等でしっかりと公開していきたい。

Q 観光誘客宣伝で旅番組制作との事。具体的には。

A 土日昼間の地上波、北陸方面で30分程度を想定。
Q コンベンション支援事業、

修学旅行は対象でないのか。

A 現在対象外。入札で取扱業者が決定される運用上の課題であると聞いている。

Q 飛騨市観光協会に移管した古川祭の業務の主な内容は。

A 起し太鼓の打ち出し会場の危険防止の仮設や交通警備、観光面での準備全般。

Q 人材確保支援事業、専門性が必要となるが、もう少し使い

やすい補助金にしては。

A 今回は市内に不足している分野の人材育成に対する補助金。今後検討していく。

基盤整備部

Q 忠霊塔の藤棚の維持管理はどこがやっていくのか。

A 土地を所有する飛騨信で維持管理していただく。

Q 無償耐震診断を促進する手立ては。

A これまでのPRに加え、戸別にチラシ配布や対話により促進したい。

Q 坂巻公園の再整備についての詳細を。

A 旧テニスコート敷地の利用について市民ニーズを調査し、それに基づき設計を行う。

教育委員会

Q 部活動出場補助金の枠組み

はあるのか。

A 制限は考えていない。

Q ノルディックウォーキングの普及方法は。

A イベント、まちなみ歩きなどでPR。指導者育成も。

Q 「ふるさと飛騨」改訂版の検討委員会構成員は。

A 設置要領で地域性、専門性等を考慮した12名以内。

Q 「夢の教室」の開催校は。

A 今年度は古小・古西小。スポーツ以外も検討したい。

Q デジタルアーカイブを身近に閲覧できる環境整備を。

A 図書館で一部閲覧できる。今後も体制を整えたい。

Q 成人式開始時間について。

A 今回を踏まえ検討する。

Q 先生の職場環境改善は。

A 部活動について、負担と

ならないよう考慮している。

市民病院

Q 老健たかはら減益の理由。

A 介護士の不足。

Q 地域包括ケア病床の利用状況は。

A 現在満床である。増床要件があるが、検討したい。

Q 透析を夜間にできないか。

A 20名の利用があるが、職員

編集後記

平成29年第1回定例会が3月22日終了しました。

平成29年度予算は、都竹市長が初めて通年予算として、本格的に編成されたものです。これまでに実施してきた事業の改革・改善、議会で指摘してきた項目や市民の方々の提案事項など、リスト化し、充分政策協議がされてきたことがうかがえるものです。

限られた財源を最大限活用し、「元気で、あんな、誇りの持てるふるさと飛騨市」の実現にむけた非常に中身の濃い予算で、質の高い質疑を心がけ熱い議論を展開してきました。

また、今回「飛騨市元職員の履歴に関する事務手続の調査特別委員会」の調査報告がされました。真実の解明は難しく、さらに疑惑がでてきたようにも感じています。行政に携わるものは、今一度襟を正し、法を遵守していかなければならないと思います。

(森 要)